

付録6：南相馬市ハートランドはらまちにおける不燃性除去物の地下式一時保管施設の概要と一時保管方法

I 一時保管施設の概要

1. 設置場所位置及び施設概略寸法

(1) 設置位置

ハートランドはらまち駐車場内

(2) 施設概略寸法及び基数

約12~24m×約71m, 約1,500m², 1基

2. 保管(定置)対象物及び数量

(1) 保管対象物

JIS Z 1651_2008 非危険物用フレキシブルコンテナに準拠した容量が約 1m³の耐候性容器で不燃性除去物を収納したもの

(2) 保管対象物の数量

除去表層土等：約2,025ton(約1,350m³)

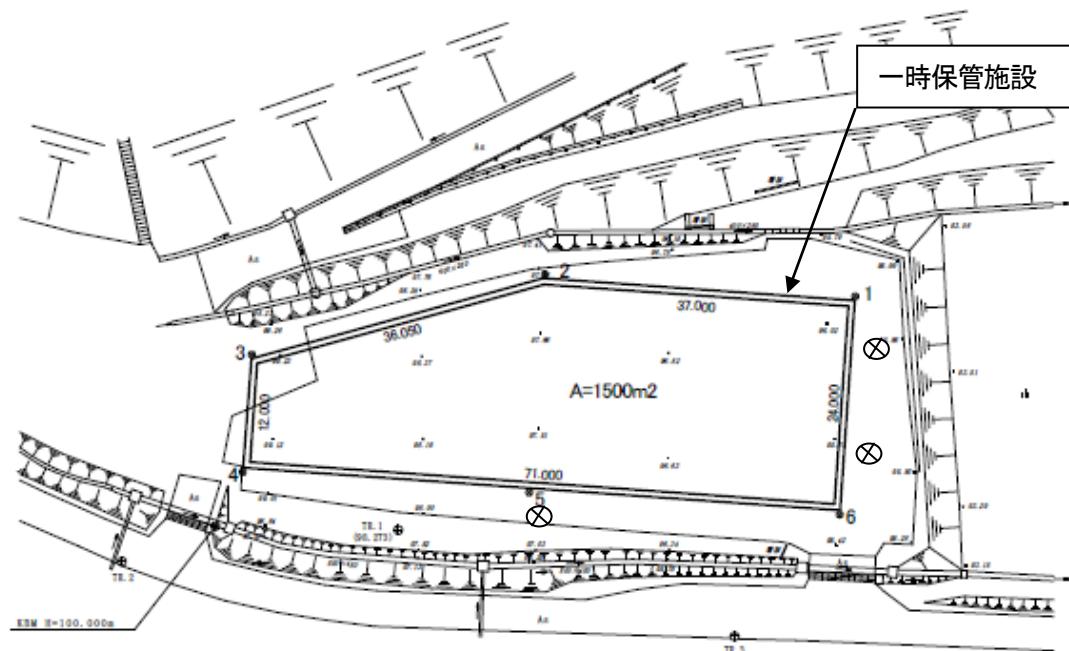
なお、仮置場の定置対象物の収納容積については、定置効率を考慮して運搬・定置対象物数量の約1割増しとして設定

3. 一時保管施設の構造

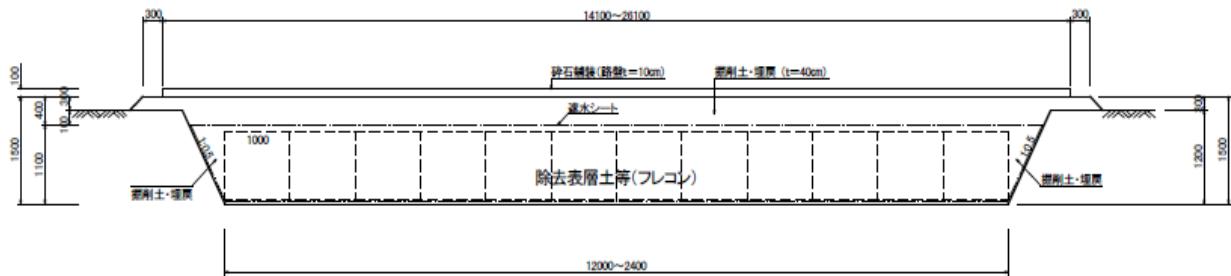
(1) 施設構造の概要

① 施設平面図

⊗：地下水サンプリング孔



②施設断面図



(2) 材料等の仕様

①遮水シート

一時保管施設の底面、側面及び上面に敷設施工

- ・ベントナイトシート、6.4t、ニードルパンチタイプ5m幅

②覆土材

一時保管施設の中間覆土及び上部覆土として敷設し転圧施工

- #### ・一時保管施設掘削部基盤層下層部の土

③表層材

上部覆土上に敷設転圧施工

- 道路用碎石 (JIS A 5001)

(3) 一時保管施設附帶設備

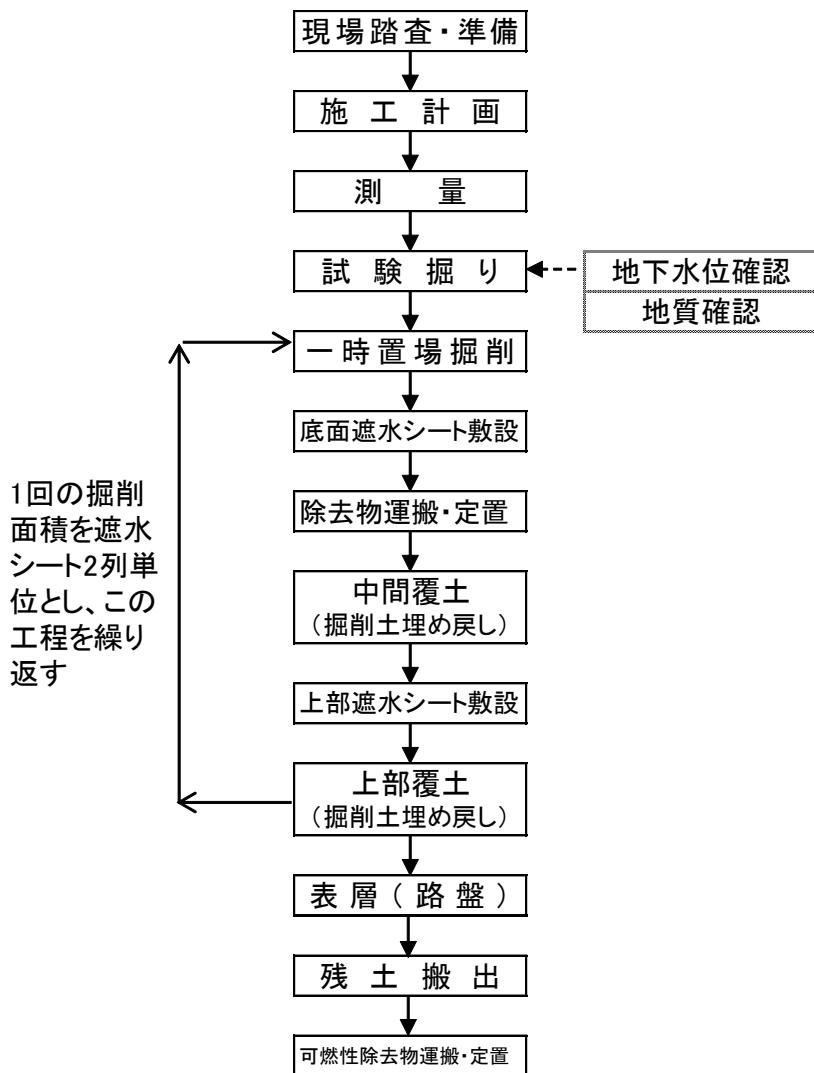
除去物の定置後における一時保管施設からの放射性物質等の漏洩を監視するため、地下水の流れ方向及び仮置場の施工面積を勘査し、仮置場近傍に以下の仕様の地下水サンプリング孔を設置した。

- ・本数：1本/箇所で3箇所
 - ・材質：有孔硬質塩ビ管（VP）
 - ・口径：2B

II一時保管の方法

1. 施工及び保管フロー

不燃性除去物に係る一時保管施設の施工及び除去物の保管手順の概略フローを、以下に示す。



2. 作業装備

除去物の保管等にあたっては、放射性物質による内部被ばく防止の観点から防塵マスク、作業用手袋、長袖、長ズボン等の作業装備とし、個人被ばく線量計を着用して作業員に個人被ばく管理を実施。